

人材確保へ特別部会

群馬建協総会 青柳会長を再任

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は18日、前橋市の群馬建設会館で2023年度定時総会を開いた。任期満了に伴う役員改選で青柳会長を再任した。8期目となる青柳会長は、今年度の行動指針を「新3K@かっこいい」とし、給与・休暇・希望の新3Kに取り組み考えを示した。24年3月までの期間限定で新たに「人材確保・建設キャリアアップ並びにワークライフバランス推進特別部会」を設立することも明らかにした。

推進特別部会については「めりはりのある働き方の意識を持ってもらおう」とし、今夏にワークライフバランスの研修会を開くと説明した。また「青年経営者部会を中心に、将来の建設業を担う若い人たちの活動を活発にしたい」と語った。

24年度から適用される時間外労働の上限規制に言及した上で、「屋外作業とデスクワークの課題を整理するため、『書類作成工期』について25日に発表を予定している。地域間格差や規模の格差の広がりなどがポイントになる」とした。

来賓の山本一太知事は「県



今年度の行動指針を説明する青柳会長

は防災インフラに力を入れることを宣言しており、皆さんの力が要だ。予算については、平準化する流れをつくっていききたい」と述べた。このほか、県議会の我孫子哲議長、関東地方整備局高崎河川国道事務所の高木崇光所長らがいさつした。

役員改選では伊勢崎支部長に小島建設の小島克也代表取締役を新たに選出した。

協建馬群 新3Kの行動指針公表 特別部会改組、WLB研修会も



群馬県建設業協会（青柳剛会長）は18日に前橋市の群馬建設会館で開いた総会で、2023年度の行動指針「新3K@かっこいい」を公表した。働き方改革を推進するため、人材確保と建設キャリアアップシステム（CCUS）推進の特別部会を改組し、ワーク・ライフ・バランス（WLB）推進にも取り組む。8月に

WLBに関する研修会を行う。総会後に会見した青柳会長は「コロナ後に業界がどの方向に向かうかの変わり目だからこそ、原点に立ち返り活動にまい進する」と抱負を語った。

23年度の行動指針を公表した青柳会長は「『@かっこいい』とは『誇りや魅力、やりがい』のこと」と説明し、「新3K（給与・休暇・希望）の実現に向かって構造改革を進めたい」と意気込んだ。写真。

行動指針を示したパンフレットでは、社会の土台づくりに携わる建設業界で、伝統技術から最新技術までを駆使する技術者集団が活躍していると強調。地域の守り手としての誇りを持ちながら、仲間とともに達成感を味わえるとアピールしている。

24年4月に迫る時間外労働の罰則付き上限規制適用に備え、組織体制の改革に取り組む。21年に総務企画委員会内に創設した特別部会「人材確保・建設キャリアアップ推進特別部会」を、1年間の期間限定で「人材確保・建設キャリアアップ並びにワークライフバランス推進特別部会」へと改組する。

特別部会では8月ごろ外部講師を招き、WLBに関する研修会を開く。従事者一人一人に働き方にメリハリをつけるよう意識付けしてもらった。青柳会長は「他業界の働き方改革の例などを参考に、建設業のWLBについて検討したい」と話した。

協会のまとめ作り新指針へ
総会で青柳会長再選

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は18日、前橋市の群馬建設会館で総会を開き、任期満了に伴う役員改選で青柳会長が再選された。8期目に入る。2023年度の事業計画や予算も承認した。

冒頭、青柳会長は「先進的な取り組みを展開する協会としての地位が確立されてきた。昨年度の活動指針『備えから成果へ』を検証し、協会のまとめ作りをやりながら新指針『新3K@かっこいい』へと向かっていきたい」と抱負を語った。

来賓の山本一太群馬県知事は「コロナ後の社会に向けて皆さんと力を合わせられるよう、予算執行の平準化などに力を入れて業界活性化を後押ししたい」と話した。

23年度 行動指針

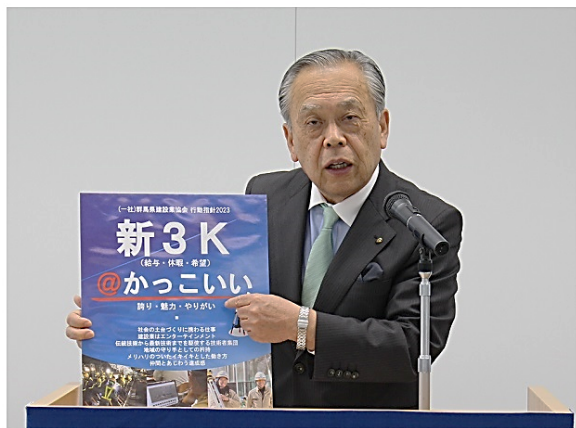
「新3K@かっこいい」

群建協

青柳会長を再任

定時総会で役員改選承認

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は18日、前橋市内の群馬建設会館で2023年度定時総会を開催した。役員改選の年あたり青柳会長が再選。行動指針に『新3K@かっこいい』を打ち出し、期間限定で『人材確保育成・建設キャリアアップ並びにワークライフバランス推進特別部会』を実施。協会運営では、青年経営者部会といった将来を担う人々を中心に活発化を図る。青柳会長は「常に業界活動の前進をすすんでいく『仕掛け』を作っていきたい」と力強く話した。総会の通常開催は、新型コロナウイルス感染症の影響から4年ぶりとなった。



新たな行動指針を示す青柳会長

8期目の再任にあたり青柳会長は「新型コロナの対応も類相当から5類へと変更となり、業界活動も活発になってきている。3年間で一気に進んだ人口減少や資材価格の高騰、そして長時間労働の問題や建設DXなどは業界を大きく変えていくとあいつ。続けて『建設業で働く人たちが群馬の建設業協会に入っ』と宣言していきたく、協会運営・活動をしていきたいと思います」と抱負を述べた。

新たな行動指針となる『新3K@かっこいい』について青柳会長は「地域建設業の原点をしっかり見つめ直し、建設業の構造改革を前に向かって進めていく」と話した。新たな取り組みとしては、メリハリのついた働き方の意識を持ってもらうため、2年前に特別部会として立ち上げた『人材確保育成・建設キャリアアップ推進特別部会』を2024年度に対応す

災害レスリエンジニアを藤岡支部長
 テーマに、山本一太知事と12支部を巡回し講演会などを開催する計画を明らかにした。
 総会には山本知事ははじめ多数の来賓が出席。山本知事は、県政に対する目ごころからの協力に感謝を述べると「災害の激甚化に対応するため、防災インフラ整備に力を入れていくと宣言している」とし、業界の力が必

要だと話した。また、「予算の平準化ができる流れを構築していきたい」とあいさつした。
 議事では23年度事業計画や収支予算などについて審議し、全議案が可決した。改選による役員人事は次のとおり。
 【会長】
 ◇青柳剛氏（再任・沼田支部長）
 【副会長】
 ◇篠原宗應氏（再任）
 ◇池原純氏（再任・吾妻支部長）
 ◇高橋明氏（再任・太田支部長）
 ◇富澤博邦氏（再任・

福生支部長）
 ◇萩原永史氏（再任・安中支部長）
 ◇小曾根久八氏（再任・館林支部長）
 ◇勝野政和氏（再任・渋川支部長）
 ◇五十嵐修氏（再任・富岡支部長）
 ◇小島克也氏（新任・新伊勢崎支部長）

行動指針に「新3K」

県建設業協会 青柳会長を再任



行動指針を発表する青柳会長

県建設業協会は18日、前橋市の群馬建設会館で定時総会と理事会を開き、任期満了に伴う役員改選で会長に沼田土建社長の青柳剛氏(73)を再任した。任期は2年。本年度の行動指針を「新

3K@かっこいい」とすることも発表した。

8期目となる青柳会長は、資材価格の高騰や長時間労働など業界を取り巻く環境に触れ「変化を受け止め、地域の建設業ならではの

の穏やかなリスタートに向け活動をきめ細かく展開していきたい」と述べた。

行動指針について、総会後の会見で誇りややりがいといった建設業の原点に立ち返り、給与、休暇、希望の3Kの構造改革を進めると説明。また、めりはりの付いた働き方に向けて協会内にワークライフバランス推進特別部会を設け、8月をめどに研修会を開く方針を明らかにした。

総会では本年度の事業計画や収支予算を報告し、2022年度決算などを承認。長年にわたって協会や業界の発展に貢献した37人に表彰状を贈った。

(佐藤秀樹)